

事業名 **環境教育等推進事業**

政策	環境と調和する都市の構築	施策	人と地球にやさしい環境の創出	基本事業	環境教育・学習の推進		
部名	生活環境部	事業開始年度	-年度	区分1	継続	実施計画事業認定	対象
課名	環境室環境課	事業終了年度	-年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	市民
意図	環境講座等を通して、環境保全への意識改革がされ、保全への取り組みを行おうとする市民が増加する。 ・総合的な学習「エコ活動読本」等を使用し、環境の大切さを学ぶことにより、えべつ環境の理解が深まる。
手段	1 環境講座の開催 (5回シリーズ) 2 えべつ環境広場の共催 (主催：えべつ地球温暖化対策地域協議会) 3 エコ活動推進読本・教材・環境家計簿等の発行 4 その他小中学生を対象とした出前講座、市民を対象とした環境学習会などの実施。

事業量・コスト指標の推移		区分	単位	22年度実績	23年度実績	24年度予算	25年度予算	目標
対象指標1	市民		人	122,138	121,705	121,705	121,385	
対象指標2								
活動指標1	環境関係イベント等の開催回数		回	18	28	30	30	
活動指標2	エコ活動推進読本の発行部数		部	610	147	800	800	
成果指標1	環境関係イベント等への参加者数		人	3,837	2,807	1,000	730	
成果指標2	環境学習をした年間児童生徒数		人	998	1,581	2,000	2,300	
単位コスト指標								
事業費計 (A)			千円	1,606	3,125	4,684	4,180	0
正職員人件費 (B)			千円	8,060	8,829	8,902	8,056	0
総事業費 (A) + (B)			千円	9,666	11,954	13,586	12,236	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案 (2月時点)
 環境教育の事業全体について、市民・事業者等との連携を強化していく。
 太陽光発電啓発事業を分離して新規事業とした。また、その他の事業に係る委託料を見直した。

25年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

維持：現状の目的や方法に変更がなかつ25年度実施する事業
 見直し：現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
 休廃止：23年度もしくは24年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
 新規：25年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性 (コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性 (成果)	向上			
	維持			
	放低下			